



にじのはし幼稚園 園だより



令和3年10月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

「暑さ寒さも彼岸まで」の慣用句通り、過ごしやすい日が続いています。体を動かすのに心地よい10月となりました。『にじっこ運動会』が楽しみです。

本園の幼児は体を動かすのが大好きです。登り棒や鉄棒に挑戦したり、思い切り体を動かして友達や先生と一緒に鬼遊びをしたり、アスレチックごっこではしごや一本橋を渡ったり、音楽に合わせてリズムカルにダンスをしたりと、それぞれの学年の幼児が、様々な運動遊びを楽しんでいます。

文部科学省は『幼児期運動指針』（平成24年3月）の中で、「幼児期は、生涯にわたる運動全般の基本的な動きを身に付けやすく、体を動かす遊びを通して、動きが多様に獲得され、動きを繰り返し、動き方が上手になる。意欲をもって積極的に周囲の環境に関わることで、社会性や認知的な発達が促され、心と体が相互に関連し合いながら総合的に発達していく時期である」としています。楽しく体を動かすことは、心身の健康や発達に大きな影響を及ぼします。

幼児期において獲得しておきたい基本的な動きとは、

「体のバランスをとる動き」…立つ、座る、寝ころぶ、起きる、回る、転がる、渡る、ぶら下がるなど

「体を移動する動き」……………歩く、走る、はねる、跳ぶ、登る、下りる、這（は）う、よける、すべるなど

「用具などを操作する動き」…持つ、運ぶ、投げる、捕る、転がす、蹴る、積む、こぐ、掘る、押す、引くなど です。

これらの基本的な動きにおいては、体を動かす遊びや生活経験などを通して、易しい動きから難しい動きへ、一つの動きから類似した動きへと、多様な動きを獲得していくことが大事だそうです。

本園では、幼児が思わず体を動かしたくなるような環境や遊びを用意し、楽しく体を動かす時間を確保しています。幼児が身体諸機能を十分に動かし、活動意欲を満足させ、有能感を育みながら、体を使った遊びに意欲的に取り組むことができるようにしています。

にじっこ運動会では、幼児が意欲的に取り組み楽しんでいる様子、様々に体を動かしている様子など、たくさんの心と体の成長をご覧いただけることと思います。

体力は人間の活動の源です。にじのはし幼稚園で育った子どもたちが、生涯にわたって健康で意欲や気力をもった人へと成長していくことを願います。

